

## FX10 スーパーコンピュータシステム「教育利用」のお知らせ

研究支援係  
システム運用係

東京大学情報基盤センター（以降、センター）では、大学院・学部などの授業・演習用としてスーパーコンピュータ資源を提供してきましたが、2012年度より FX10 スーパーコンピュータシステムを「教育利用」の計算資源として提供します。以下に、「教育利用」の概要並びに提供資源についてお知らせいたします。詳細はセンター Web ページをご覧ください。

### 1. 概要

センターでは、大学院や学部の授業において、演習用としてスーパーコンピュータ資源を提供しています。

気候・流体解析・構造解析・分子科学・ナノテクノロジー・航空宇宙など、多方面の研究分野で養われた手法を用いてスーパーコンピュータを演習教材として使用する動きがあり、既に学部の専門課程及び大学院の授業では、構造解析・地球科学・流体関係の演習用としてスーパーコンピュータが使われています。

教育現場でのスーパーコンピュータの利用は、人材育成や利用の拡大に繋がれると期待できることから、センターでは、大学、高等専門学校教員が担当する大学院、大学学部、高等専門学校における講義・演習（集中講義を含む）を対象とし、申込を随時受け付けています（利用開始までには十分な余裕を持って利用申込をお願い致します）。

### 2. 提供資源

FX10 スーパーコンピュータシステム

- ・1 ジョブあたりの最大実行時間 15 分、最大 ノード数 12 (192 コア)

### 3. 利用案内

- ・センターが定める FX10 スーパーコンピュータシステムを無料で使用できます (1 ジョブあたりの最大実行時間 15 分、最大ノード数 12 ノード (192 コア))。
- ・担当教員は、システムの利用について責任を持ってご指導ください。学生からセンターに対する質問はご遠慮ください。
- ・講義・演習終了後、半年以内にセンターが発刊するスーパーコンピューティングニュースに報告記事を執筆していただきます。
- ・外国人の方が利用を希望される場合は、関連法などに抵触しないことを確認の上、申込みを行ってください。

### 4. 利用申込

スーパーコンピュータシステム利用規程等をよくお読みになり、申込書に必要事項をご記入の上、情報基盤センター研究支援係へご提出ください。提出先は、「申込・問い合わせ先」をご覧ください。なお、申込書類は本センター Web ページより入手の上、両面印刷してご使用ください。

- ・申込みにあたっては、講義・演習の内容がわかる資料（シラバス・カリキュラム等）の写しを添付してください。
- ・申込みは、原則として学期単位で受け付けます。
- ・申込みが多数の場合は、システム全体の利用状況を考慮し、利用の制限または利用をお断りする場合があります。

### 5. 申込・問い合わせ先

ご不明な点などがありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

東京大学情報基盤センター研究支援係、E-Mail : uketsuke@cc.u-tokyo.ac.jp

〒 113-8658

東京都文京区弥生 2-11-16

東京大学情報基盤センター 研究支援係